

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	○理念の共有と実践 理念の目標とは別に3ヶ月毎の目標は、もう少し具体的な内容にする。	目標に向けて評価がしやすい具体的な目標をたてて、職員一同が実践できるようにする。	毎月のミーティングの時に各自が目標達成できたか評価を行う。	3ヶ月
2	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング より具体的なサービス支援内容となるよう5W1Hを意識した介護計画の立案にする。	5W1Hを意識して具体的でわかりやすい本人の想いに添ったケアプランの作成を行う。	ご本人が実現可能でより具体的でわかりやすいケアプランを作成する。	3ヶ月
3	16	○災害対策 地域との協力関係構築にあたって、より具体的な役割分担を確認する等の取り組みをする。	防災訓練では、地域の方に協力を依頼し、災害時での役割として「見守り」をお願いしていく。	運営推進会議等で災害について話し合いを行い、地域の方への役割として利用者様の見守りをお願いしている事を確認していく。	6ヶ月
4	18	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 言い方は優しいのだが、指示的な内容になっていないか職員間で話し合い確認する。	身体拘束適正化委員会や虐待防止委員会で利用者様に対しての接遇などの研修を行い、利用者様への尊重とプライバシーの確保の確認をしていく。	研修やミーティングなど職員間で確認を行い、職員のセルフチェックで評価をしていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。